

第54期株主通信 | 平成23年4月1日～平成24年3月31日



## 健康はキョーリンの願いです

キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、  
人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。

## Profile

### 持株会社体制

「キョーリン製薬ホールディングス株式会社」は、グループ統轄会社としてグループ全体の経営戦略機能を担い、経営資源の効率的な配分や運用を行うことでキョーリン製薬グループ全体の総合力を発揮し、連結業績の向上に努めています。

グループ体制図



## 中期経営計画「HOPE100 ―ステージ1―」の達成を目指し、 一層の企業価値の向上に取り組んでまいります。

平素よりキョーリン製薬グループに対しまして格別のご理解  
とご支援を賜り、誠に有難うございます。当社グループの平成  
23年4月1日から平成24年3月31日までの第54期の事業の  
概況をご報告申し上げます。



当社グループは、「キョーリンは生命を慈しむ心を買き、人々の  
健康に貢献する社会的使命を遂行します」という企業理念の  
具現化に向け、中核子会社である杏林製薬㈱の創業100周年  
にあたる平成35年を見すえた長期ビジョン「HOPE100」及び  
中期経営計画「HOPE100―ステージ1―(平成22年度～27年

度)」を策定し、平成22年度より活動を開始しました。

2011年度は、その2年目として一層厳しさの増す経営環境  
下ではありますが、連結ベースでの業績向上を目指します。

これからも当社グループは、企業理念の具現化に向け、  
医薬品事業を中核とする多核的なヘルスケア事業ポートフォリ  
オの構築により、「健康生活応援企業」への進化を図ります。

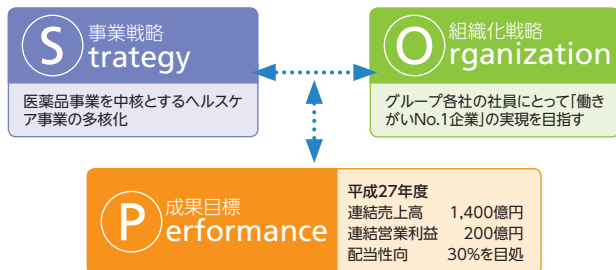
株主の皆さまには、引き続きなお一層のご支援を賜ります  
ようよろしくお願い申し上げます。

### 長期ビジョン「HOPE100(平成22年度～35年度)」

HOPE: Aim for Health Of People and our Enterprises

キョーリン製薬グループは、ヘルスケア事業を多核的に  
展開・発展させ、平成35年には社内外が認める健全な健康  
生活応援企業へと進化します。

### 中期経営計画「HOPE100―ステージ1―(平成22年度～27年度)」



代表取締役社長 山下正弘

## 》》 当期の概況

当連結会計年度における国内経済は、東日本大震災や原発事故、電力供給不安の影響等により厳しいスタートとなり、年明け以降、景気は徐々に回復しているものの先行きはなお不透明な状況にあります。

当社グループの中核事業が属する国内医薬品業界では、引き続き薬剤費の抑制を目的とした諸施策が推進され、企業間競争も激化し、ヘルスケア事業においても消費の低迷により厳しい環境となりました。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「HOPE100－ステージ1－（平成22年度～平成27年度）」の達成を目指し、事業戦略として「ファーマ・コンプレックス（PC）モデルの具体化」、「ヘルスケア新規事業の創出と育成」に取り組み、持続成長とステークホルダーの皆さまからの支持・評価の向上に努めました。

医薬品事業では、新薬群、先発品群、後発品群を複合的に展開するPCモデルの具体化に積極的に取り組みました。研究開発パイプラインの充実と世界に導出できる新薬の創製に挑戦すると共に新薬群、先発品群では主要製品の普及の最大化に

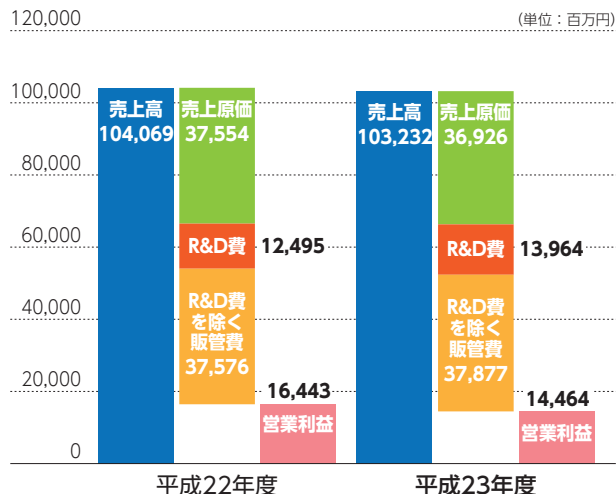
努め、後発品群では市場のニーズに対応する営業活動を推進しました。しかしながら、東日本大震災の影響や海外売上の減少等から医薬品事業全体としては前年同期に対して売上減となりました。

ヘルスケア事業では、既存のスキンケア事業育成、新規事業の創出と育成に積極的に取り組みましたが、売上は前年を下回りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,032億32百万円と前年同期比8億36百万円（前年同期比0.8%減）の減収となりました。

利益面では、売上総利益は663億06百万円と前年同期比2億08百万円減となりました。また、販売費及び一般管理費は、主に新薬開発の進展に伴う研究開発費の増加により前年同期比17億70百万円増加したため、営業利益は144億64百万円と前年同期比19億78百万円（前年同期比12.0%減）の減益となりました。当期純利益につきましても、法人税率引下げに関連する法律が公布されたことに伴い、法人税等調整額が増加したため、92億31百万円と前年同期比16億96百万円（前年同期比15.5%減）の減益となりました。

## ■ 損益の概要



## ■ セグメント別売上高



## ■ 平成25年3月期連結業績予想（通期）（平成24年5月9日公表数値）

売上高	1,047億円	（前年同期比 1.4%増）
営業利益	179億円	（前年同期比 23.8%増）
経常利益	185億円	（前年同期比 21.1%増）
当期純利益	118億円	（前年同期比 27.8%増）

## セグメントの状況



**国内新医薬品** 呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科を中心とする特定領域の医師・医療機関に営業活動を重点化するフランチャイズカスタマー（FC）戦略及び卸店政策の強化により、主要製品の普及の最大化を推進し処方数量の増加、売上拡大に努めました。しかしながら、昨年3月に発生した東日本大震災に伴う在庫不足を考慮した前倒し発注により、前年度実績が膨らんだ反動もあり、売上高は859億95百万円（前年同期比0.8%増）と若干の増加に留まりました。

主要製品では、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」、過活動膀胱治療剤「ウリトス」、去痰剤「ムコダイン」が前年を上回る実績で推移しましたが、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペントサ」は前年を下回りました。

**海外新医薬品** 広範囲抗菌点眼剤「ガチフロキサシン点眼液（導出先：米国アラガン社）」の売上が前年を下回り、売上高は20億15百万円（前年同期比26.4%減）となりました。

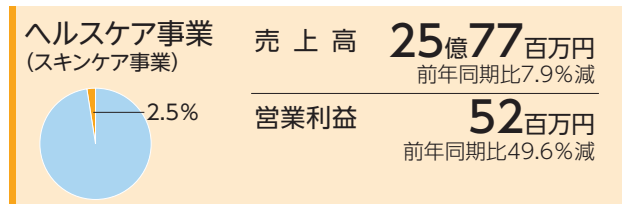
**後発医薬品** 平成22年度より推進されている後発医薬品の使用促進策等により保険調剤薬局への売上は増加したものの、他社からの受託生産品売上の減少、東日本大震災の被災地域にある販社の売上減等により売上高は86億56百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

**一般用医薬品他** 景気の低迷する中、主要製品である哺乳びん殺菌消毒剤「ミルトン」は営業力を強化することで前年の売上を確保しましたが、アレルギー用薬等、その他の製品売上が前年を下回り、売上高は39億87百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,006億54百万円（前年同期比0.6%減）となり、営業利益は142億18百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

研究開発の状況につきましては、世界に導出できる新薬の創出と提供が新薬メーカーとしての存在意義を高め、持続成長に結びつくとの認識に基づき、自社創製品、導入品、既存品のライフサイクルマネジメント（新効能・効果の取得、新剤型の追加等）により特定領域の魅力ある新薬パイプラインの構築に積極的に取り組みました。自社創薬活動では、研究領域を呼吸器・泌尿器・感染症に重点化し、効果的かつ効率的な新薬の創製に努めました。

国内開発の状況としましては、耳鳴治療薬「KRP-209」のPh（フェーズ）Ⅱ臨床試験及びニューキノロン系合成抗菌剤「KRP-AM1977X」のPhⅠ臨床試験を平成23年8月より、慢性閉塞性肺疾患治療剤「KRP-AB1102」のPhⅡ臨床試験を平成24年2月より開始しました。また潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペントサ」の新用法・用量（1日1回投与）を平成23年11月に申請し、気管支喘息治療剤「KRP-108」及び潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペントサ」の新剤型（坐薬）につきまして、年度末にPhⅢ臨床試験を終了する等、開発パイプラインは着実に進捗いたしました。その結果、研究開発費は前年同期に対して14億68百万円増加し、139億64百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

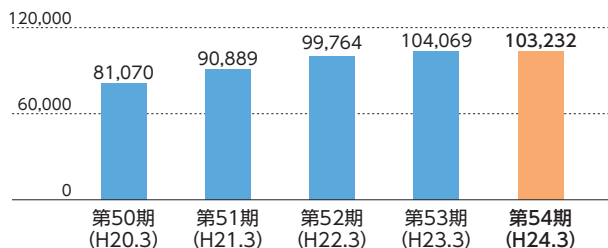


ナノカプセル技術を応用したスキンケア製品を取り扱うドクタープログラム<sup>株</sup>の売上が前年を下回る実績となりました。この結果、当セグメントの売上高は25億77百万円（前年同期比7.9%減）となり、営業利益は52百万円（前年同期比49.6%減）となりました。

売上高 103,232百万円

前年同期比0.8%減

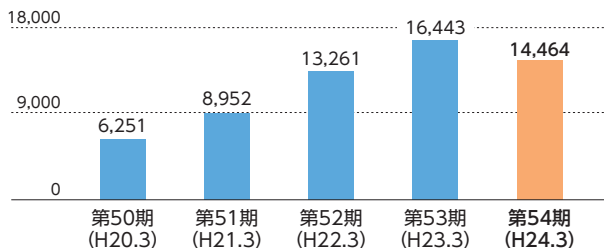
(単位：百万円)



営業利益 14,464百万円

前年同期比12.0%減

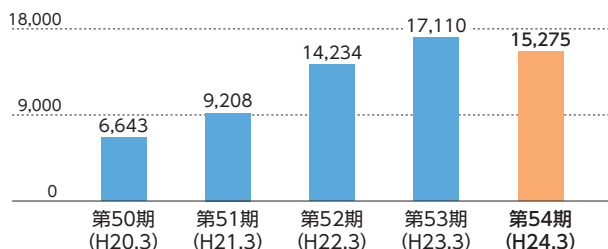
(単位：百万円)



経常利益 15,275百万円

前年同期比10.7%減

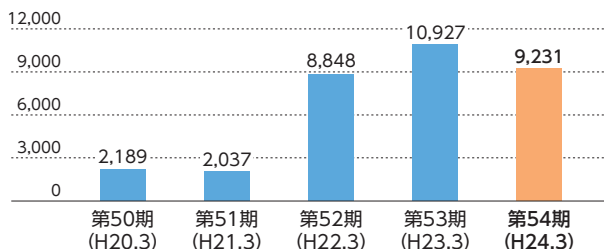
(単位：百万円)



当期純利益 9,231百万円

前年同期比15.5%減

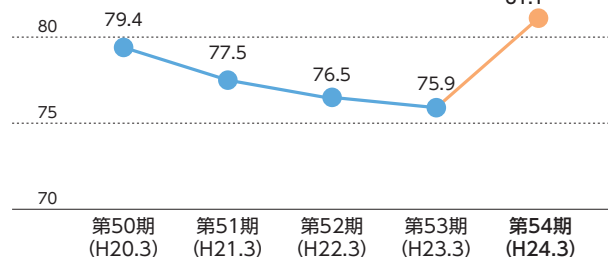
(単位：百万円)



自己資本比率 81.1%

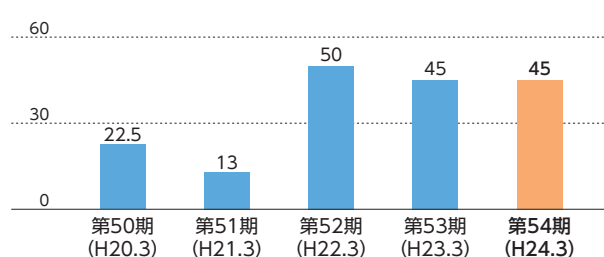
前年同期比5.2ポイント増

(単位：%)



配当金 45円

(単位：円)



●連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	当期末 平成24年3月31日現在	前期末 平成23年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	99,850	104,427
固定資産	45,822	42,806
有形固定資産	14,544	14,916
無形固定資産	846	816
投資その他の資産	30,431	27,073
資産合計	145,673	147,234
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	23,385	30,421
固定負債	4,086	5,105
負債合計	27,471	35,527
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	117,931	112,076
資本金	700	700
資本剰余金	4,752	4,752
利益剰余金	112,797	106,928
自己株式	△318	△304
その他の包括利益累計額	269	△370
純資産合計	118,201	111,706
負債純資産合計	145,673	147,234

●連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
売上高	103,232	104,069
売上原価	36,926	37,554
売上総利益	66,306	66,514
販売費及び一般管理費	51,842	50,071
営業利益	14,464	16,443
営業外収益	879	769
営業外費用	67	102
経常利益	15,275	17,110
特別利益	22	141
特別損失	34	115
税金等調整前当期純利益	15,262	17,136
法人税、住民税及び事業税	5,179	5,944
法人税等調整額	851	265
少数株主損益調整前当期純利益	9,231	10,927
当期純利益	9,231	10,927

●連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	当期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	前期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	8,913	6,805
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,926	△1,806
財務活動による キャッシュ・フロー	△7,412	201
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△29	△93
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△3,454	5,108
現金及び現金同等物の 期首残高	26,665	21,556
現金及び現金同等物の 期末残高	23,210	26,665

## 主要子会社である杏林製薬(株)の主な取扱品目

当社グループの杏林製薬(株)は、魅力のある新薬の創製に努めると共に呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科を重点領域として医薬品事業を展開しています。同社の主要取扱品目は下記のとおりです。

MUCODYNE



気道粘液調整・粘膜正常化剤

**ムコダイン<sup>®</sup>**

KIPRES



気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤

**キプレス<sup>®</sup>**

URITOS



過活動膀胱治療剤

**ウリトス<sup>®</sup>**

PENTASA



潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤

**ペンタサ<sup>®</sup>**

KETAS



脳血管障害・気管支喘息改善剤

**ケタス<sup>®</sup>**

活性型ビタミンD<sub>3</sub>製剤  
胃炎・胃潰瘍治療剤

ロカルトロール  
アプレース

広範囲抗菌剤  
哺乳びん殺菌消毒剤

バクシダール  
ミルトン

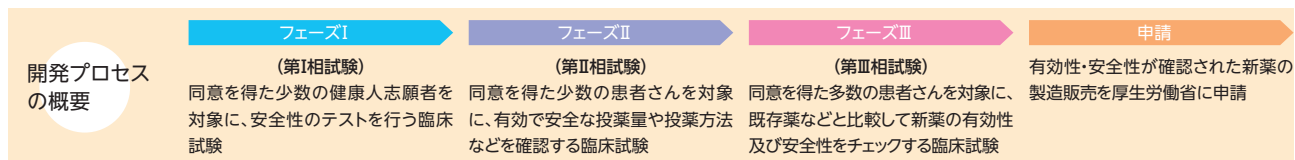


# 主な開発品の動向 Products under Development

(平成24年5月現在)

## Ph I ~申請中

製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	開発段階			
				フェーズI	フェーズII	フェーズIII	申請
KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息治療剤	イギリス スカイファーマ社	ステロイド及び長時間作用型β作動薬の配合剤で利便性やコンプライアンスに優れる	国内	申請準備中		
				海外	スカイファーマ社 ムンディファーマ社		
ベンタサ (錠剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法・用量(1日1回投与)	国内	H23年11月		
ベンタサ (坐薬)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型(1日1回投与)	国内	申請準備中		
KRP-104	糖尿病治療剤	自社	インスリン分泌ホルモンの分解を抑えることにより血糖低下作用を示す副作用の発現が少ない糖尿病治療が期待される	国内	H20年2月		
				海外	H19年9月		
KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	国内	H23年8月		
				海外	メルツ社		
KRP-203	自己免疫疾患、IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤 既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	国内	H22年12月		
				海外	ノバルティス H22年12月		
KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさ等の諸症状を改善する長時間作用型気管支拡張薬	国内	H24年2月		
				海外	アルミラール社 フォレスト社		
KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系合成抗菌剤	自社	薬剤耐性グラム陽性菌(MRSA含む)に対して優れた抗菌力 高い安全性が期待される	国内	H23年8月		



■会社概要 (平成24年3月31日 現在)

商号	キョーリン製薬ホールディングス株式会社 (英文: KYORIN Holdings, Inc.)
事業内容	創薬ビジネス・医薬品事業等を営む子会社を中心とするグループ全体の経営戦略機能を担う持株会社
本社所在地	〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台2丁目5番地
設立	昭和33年(1958年)
資本金	7億円
従業員	80名(連結2,297名)

■株式の状況

発行可能株式総数	297,000,000株
発行済株式の総数	74,947,628株
	(内、自己株式 222,821株)
当期末株主数	4,584名

(注)平成24年7月1日付をもって単元株式数を1,000株から100株に変更することとしました。なお、東京証券取引所における売買単位も1,000株から100株に変更されることとなります。

■役員 (平成24年6月22日 現在)

取締役及び監査役	やま した まさ ひろ		
代表取締役社長	山 下 正 弘		
取締役	みや した みつ とも		
	宮 下 三 朝		
専務取締役	ほ がわ みのる		
	穂 川 稔		
常務取締役	まつ もと とみ はる		
	松 本 臣 春		
取締役	おぎ ほら ゆたか		
	荻 原 豊		
取締役	こ むろ まさ かつ		
	小 室 正 勝		
常勤監査役	みや した せい ゆう		
	宮 下 征 佑		
常勤監査役	あ べ しげる		
	阿 部 茂		
監査役(社外)	お ぼた まさ し		
	小 幡 雅 二		
監査役(社外)	ほん だ じゅん じ		
	本 田 淳 治		
監査役(社外)	ひろ た やす ゆき		
	廣 田 保 之		
執行役員			
上席執行役員	いし ぎき たか よし		
	石 崎 孝 義		
上席執行役員	い どう よう		
	伊 藤 洋		
上席執行役員	かな い さとる		
	金 井 覚		
上席執行役員	おぎ ほら しげる		
	荻 原 茂		
執行役員	ます い まさ のり		
	舩 井 正 範		

## キョーリン製薬グループ各社の概要(連結子会社)

### 杏林製薬株式会社

<http://www.kyorin-pharm.co.jp/>

キョーリン製薬グループにおける中核企業として、創薬ビジネスに注力し、画期的新薬を創製することで新薬メーカーとしての使命を果たし、かつ早期にビジネス展開していくことで医薬品事業の競争力強化を図っています。これからも個性的で存在意義のある健康貢献企業を目指して事業活動に取り組んでまいります。



**主な事業内容** 創薬研究 | 研究開発 | 製造 | 販売

### キョーリン リメディオ株式会社

<http://www.kyorin-rmd.co.jp/>

キョーリン製薬グループのジェネリック医薬品事業子会社であり、「信頼される後発医薬品企業」を目指し、品質面での向上を図り、患者さんが安心して服用できる製品を供給しています。これからも品質保証・安定供給・情報提供を徹底し、特色のある・信頼される後発医薬品企業を目指します。



**主な事業内容** 研究開発 | 製造 | 販売

### ドクタープログラム株式会社

<http://www.drprogram.co.jp/>

新規美容成分の研究や成分浸透技術の開発で培ってきた製薬発想のナノカプセル技術を製品づくりの基盤とし、創業以来、「安全で真に効果の高い」化粧品を提供することでお客様の支持と信頼を獲得し、成長を遂げてきました。今後もお客様の声に真摯に耳を傾け、新しい価値を創造し、女性の美と健康に貢献していきます。



**主な事業内容** スキンケア商品の開発と販売

### キョーリン メディカルサプライ株式会社

<http://www.kyorin-ms.co.jp/>

昨年4月に(株)杏文堂からキョーリン メディカルサプライ(株)に社名を変更しました。

従来の事業活動に加え、新たに環境衛生事業に取り組みます。社会や個人が抱える健康や疾病の問題に対し、人々を取り巻く環境からアプローチすることで、健康生活応援企業として社会に貢献します。



**主な事業内容**  
販売促進 | 広告の企画制作 | 環境衛生事業

なお、平成24年5月28日付でMSD株式会社とMSD滋賀工場の資産譲受・受託生産等の契約を締結し、同工場の所有・運営を目的として平成24年6月15日付で当社の100%子会社「キョーリン製薬グループ工場株式会社」を設立いたしました。

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月に開催  
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日  
単元株式数 1,000株  
平成24年7月1日より100株に変更いたします。  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
(特別口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
(お問合せ先) 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)  
お取扱店 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社  
本店及び全国各支店  
公告掲載紙 日本経済新聞

### (ご注意)

1. 口座管理機関(証券会社等)の口座に株式をお預けの株主さまの場合住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)が窓口となります。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取扱いできませんので注意願います。
2. 特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまの場合住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部(株主メモ参照)にお問合せ願います。
3. 平成24年6月7日に発送いたしました第54回定時株主総会招集ご通知に同封の「配当金計算書」は、確定申告の際の参考資料としてご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主さまにつきましては、お取引の証券会社にご確認ください。
4. 未受領の配当金につきましては、左記お取扱店(株主メモ参照)及びみずほ銀行本店・全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内 <http://www.kyorin-gr.co.jp/>



株主の皆さまにタイムリーな情報をお届けいたしておりますのでぜひご覧ください。

### ホームページサイト

キョーリン製薬グループについて	社長ご挨拶、企業理念・ビジョン、会社概要、グループ概要、組織図 等
事業内容	新医薬品・ジェネリック医薬品、ヘルスケア事業 等
株主・投資家情報	IRライブラリ、アニュアルレポート、有価証券報告書、株主総会招集通知 等
その他、グループ経営戦略、CSR活動 等	

## 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4569

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

## キョーリン製薬ホールディングス株式会社

〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地 TEL:03-3293-3451(代)

